

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。  
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2019年3月発行

はもりあ四日市の一大イベント「はもりあフェスタ」が、無事に終了しました。ご参加いただいた皆さん、そして、昨年7月から企画運営委員として準備に携わっていただいた皆さん、本当にありがとうございました。さて、早いもので、今年度も残すことあと1カ月、事業もわずかになり、来年度に向けての準備も進めています。今年度に続き、来年度の事業にもぜひご参加ください。

## 2/2(土)~3(日)「はもりあフェスタ2018」開催しました

オープニングとして、共同地区子ども諏訪太鼓の皆さんによる、力強い太鼓演奏、はもりあ四日市登録グループや市企画による11のワークショップ、女性の起業を応援するチャレンジショップ、登録グループの活動パネル展示、フェスタを締めくくるエンディング講演会などが開催されました。天候にも恵まれ、たくさんのご参加をいただきました。ありがとうございました。

2月2日(土)



【防災・減災女性セミナー】



【留学生と共に考える男女共同参画】



ワークショップ



【お野菜たっぷり健康料理教室】



【シニアのためのほのぼの朗読会】



【#MeToo#WeToo#WithYou】



【「介護する息子」のお茶会】



【タッピングタッチ】



【憲法に学ぶ男女平等の出発点】



【大人のための朗読】



【子どもと絵本のひろば】

2月3日(日)



【パパと一緒に肉まんを作ろう！】

# 女性自治会長さん インタビュー

身近な暮らしの場である地域生活において、男女ともにお互いの意見が尊重され、誰もが暮らしやすいまちづくりをしていくことは、男女共同参画の推進には欠かせません。そのために、大切な事を決める場に女性も参画していくことが重要です。はもりあ四日市では、4回にわたり地域のリーダーとして活躍している女性自治会長さんに、お話を伺います。

最終回となる第4回目は、桜地区桜町山上第一自治会長の奥山千津子さんにお話を伺いました。

Q1:自治会長になったきっかけ

Q2:自治会長として大変に思うこと、また心がけていること

Q3:地域活動の中で女性の参画状況

Q4:自治会長をして良かったこと、これからに向けてメッセージ

桜地区桜町山上第一自治会長 奥山千津子さん

**A1** 現在4年目です。当時、単地区での自治会長のなり手を探していて、育成会時代からのご縁で連合自治会長よりお話をいただきお引き受けしました。

**A3** 女性も増えてきてはいます。でも女性がバリバリとやっていなくても、相手を受け入れるというか、意見をおしつけるのではなく、お互いに耳を傾けるということが出来ていると思います。頭から否定するということはありませんね。個人的な意見になるかもしれませんが、お互いのいいところを持ちよって、認め合ってつくりあげていくことが大事だと感じています。



**A2** 大変だと思うようなことはほとんどありません。もともと人と接することが好きで、育成会などの地域活動をしていたものですから、顔見知りも多く、自治会活動についてもみんなに助けていただいています。

心がけていることは、間に合わないかもしれませんが、心配りをする事ですかね。以前、他地区の自治会長さんが、自治会長は、雑用係とか整理係みたいなものとおっしゃっていましたが、そうかもしれませんね。

**A4** 自治会だけでなく、地域活動は多くの方と知り合えて楽しいものです。若い時から地域活動に関わって、その時がきたら臆することなく引き受けていただきたいと思います。

今回のインタビューでは、気負わず、楽しんで自治会活動に取り組んでいらっしゃる様子が、目に浮かぶような楽しいお話をたくさん伺うことができました。

今年度は4回にわたり、地域で活動していただいている女性自治会長さんにお話を伺いご紹介してきました。自治会長を引き受けられた経緯は、皆さんさまざまでしたが、どの自治会長さんも、自分たちの地域を住みやすい町にするために、様々な工夫で取り組まれていること、そして何より、楽しんでされている姿がとても印象的でした。

お忙しい中、貴重なお時間と、ご協力をいただき本当にありがとうございました。



放送されます!ちゃんねるよっかいち “男女共同参画のまちを目指して”

CTYの“ちゃんねるよっかいち”で男女共同参画について特集されます。

次の日程で放送予定です。ぜひご覧ください。

**放送日時 2019年3月21日~31日**

月・水・金・日

9:30~9:50 20:30~20:50

火・木・土

12:30~12:50 20:30~20:50





相談室  
から

# はもいあ四日市相談室のご案内

## まずは、お気軽にお電話を

### 婦人相談員による 女性のための電話相談

火曜日～土曜日 9:00～16:00  
水曜日 18:30～20:30

《専用電話》

**059-354-8335**

- ★市内に在住、または通勤、通学する女性なら、どなたでも利用できます。
- ★お一人 30 分程度
- ★相談は無料です。 ★秘密は厳守します。

電話で相談員と問題を整理の上、必要に応じておつなぎします。

#### 面接相談【予約制】

お一人 60 分程度

面接相談の後、必要に応じて、

#### 法律相談

#### 臨床心理士相談

も受けられます。

相談内容は・・・

- 自分自身の生き方
- 夫婦のこと
- 男女のこと
- 離婚のこと
- 家族のこと
- 夫婦間・恋人間の暴力
- 職場の人間関係 など



### 男性の臨床心理士による 男性のための電話相談

毎月第4土曜日 13:00～15:00  
(11月と来年2月は第4金曜日)

《専用電話》

**059-354-1070**

- ★市内に在住、または通勤、通学する男性なら、どなたでも利用できます。
- ★お一人30分程度
- ★相談は無料です。★秘密は厳守します。

#### 今月のキーワード

### クオータ制

クオータとは、1/4を表すクォーター(quarter)ではなく、「割り当て、分配、分け前」の意味を表すクオータ(quota)です。男女共同参画社会の実現に向けて、政策決定の場における男女比率の偏りをなくするため、一定枠を両ジェンダーに割り当てる積極的改善措置策の一つがクオータ制です。

この制度の発祥地ノルウェーでは、一般企業に対してもこれを法制化して、取締役会など経営中枢への女性進出に、大きな効果を上げています。

現在、多くの国で採用されていますが、日本ではクオータ制は採用されていません。平成29年12月末現在、日本全体の地方議会議員のうち、女性議員の占める割合は12.9%となっています。4月に統一地方選挙がありますが、一人でも多くの女性議員が選出されて、政策決定の場に女性をもっと参画できるようになり、男女がともに活躍する社会になることが望まれます。

男女  
共同

## さんかくeye<sup>あい</sup>

このコーナーでは、はもいあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点<sup>★</sup>を通してね。

45歳男性の子育て奮闘記です。R君とK君は6歳8カ月に、S君は2歳4カ月になりました。

R君とK君もいよいよ卒園式を迎え、来年度は小学生です。「もう小学生かぁ」というのが正直な感想です。初めて生まれた子が双子で、育児経験もないなか、慌ただしくその日その日乗り切ってきたためか、初めて歩いたのはいつ頃だったとか、初めてしゃべったのはどんな言葉だったかなど、妻も私も正直あまり記憶が残っていません。しかし、妻がS君出産のため1週間入院した時に、私とR君とK君で、「お母さんのいない1週間3人で頑張ろう！」と掛け声をかけて始まった3人だけの生活がすごく印象に残っています。その時は4歳で、妻と離れたこともない2人が、寂しいとも言わず、自分のできる範囲内で頑張ってくれて、何も困ることもなく、3人での生活は楽しかったなどの記憶が思い起こせます。2人の記憶には残っていないかもしれませんが、私は大事な思い出として、いつまでも覚えていたいと思っています。

【お弁当作りから解放されることがとてもうれしい担当:Y】

# 2/2(土)~3(日)「はもりあフェスタ」開催しました

ありがとう  
ございました

## オープニング 「共同地区子ども諏訪太鼓」の演奏

「はもりあフェスタ」の開始を飾るオープニング公演として、昨年度も好評だった、共同地区子ども諏訪太鼓の皆さん(総勢11名)にお越しいただきました。

大きさの異なる8つの太鼓や笛などからなる演奏は、見る方々の心に響き渡り、オープニングにふさわしい、華々しいものとなりました。



【演奏の様子】

## 登録グループ 活動展示



【パネル展示】

## チャレンジショップ

オープニングの後、起業を目指す女性の実践・ネットワーク作りの場として「チャレンジショップ」が行われました。今年度は8つの出店者に加え、社会福祉協議会の福祉の店や、NPO法人市民社会研究所の伊勢おやき、ばんこの里会館のにじいろ堂に出店いただき、はもりあフェスタを一層盛り上げていただきました。



【ショップの様子】

## エンディング講演会

### 「女性アスリートを終えて、その後の社会活動の関わりについて」

「はもりあフェスタ」を締めくくるエンディングとして、走り幅跳び日本記録保持者・北京オリンピック日本代表の井村久美子さんを講師にお迎えしました。アスリート時代は、過食症に苦しみながらも、ご両親の支えなどで頑張ってきたこと、現在は鈴鹿市で運動教室を開き、子どもたちを中心に指導を行っていることとお話しされました。「楽しむが勝ち」を理念に、勝つことが目的ではなく、子どもたちの自己肯定感が育つように指導されているそうです。男性の指導者が多い世界で、女性でさらに県外出身ということでの苦労もありながらも、日々指導者としての向上を目指し、勉学に励まれているとのことでした。

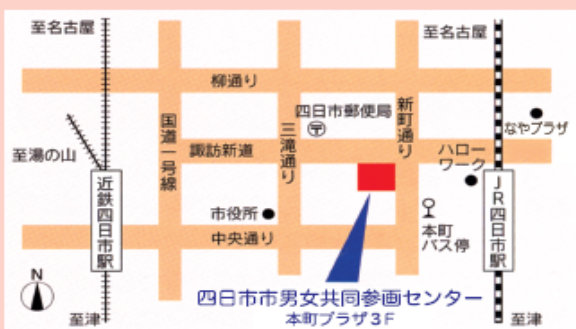


【講演会の様子】

◎◎あとがき◎◎

ひと雨ごとに春が近づき、鈴鹿の山でも雪解けが始まっていると思うと、日当たりのよい斜面を黄色に埋め尽くすフクジュソウの群生に早く会いたくなってきます。

『福寿草』は、幸福の『福』に長寿の『寿』と、とてもおめでたい二文字を持つ早春を代表する花です。5センチくらいの背の低い花で、花を太陽に向けて、パラボラアンテナのように光を花の中心に集め、その暖かさで虫を花の中に誘っています。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml